

文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 平成30年2月26日(月)
- 2 会 場 第2委員会室
- 3 開会時刻 午前10時04分
(休憩 午前11時41分～午前11時47分)
- 4 閉会時刻 午後 0時16分
- 5 出席者 委員長 松本 均 副委員長 榛村 航一
委員 榛葉 正樹 委員 野口 安男
" 勝川志保子 " 藤澤 恭子
" 嶺岡 慎悟
- 当局側出席者 浅井副市長、教育長、健康福祉部長、こども希望部長、
教育部長、所管課長
- 事務局出席者 議事調査係 伊藤千恵子

6 審査事項

- ・ 議案第32号 平成29年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第3款 民生費
第4款 衛生費(第1項)
第10款 教育費(第5項2目のうち所管外部分を
除く、第6項1目・2目を除く)
- ・ 議案第33号 平成29年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・ 議案第34号 平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・ 議案第35号 平成29年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成30年2月26日

市議会議長 鈴木 正 治 様

文教厚生委員長 松 本 均

7 会議の概要

平成30年 2月26日（月）午前10時04分から、第 2委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（浅井副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

①議案第32号 平成29年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第3款 民生費

第4款 衛生費（第1項）

第10款 教育費（第5項2目のうち所管外部分を除く、第6項1目・2目を除く）

第3款 民生費

〔福祉課 説明 10:07～10:14〕

〔質疑 10:14～10:26〕

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○野口安男委員

121ページ、人権擁護活動支援費について、3地区の合同研修会の廃止理由は。

●戸塚福祉係長

掛川市、菊川市、御前崎市 3地区27人の人権擁護委員が県外視察等行っていた。日程調整つきにくい。家庭も空けたくない。いつまで1泊の研修続けられるか議論あった。昨年4月に取りやめる結論となった。

○野口安男委員

県外視察を辞めたということ。人権擁護委員の要望。研修を深めるという意味。説明資料 2、132ページ、放課後等デイサービス費について、利用者数全部で205人とのこと。就学している子どもたち、利用する割合がどの程度か。デイサービス利用しているのか。

●寺田福祉課長

掛川特別支援学校1学年15人～20人、小学校 1年から高校 3年まで対象であり、ほとんどの方が登録はしている。障がい者福祉サービスは、まずは登録していただき登録証をもとに各施設と契約し、使いたいときに使う契約。登録していて、使う使わないは親の判断である。

○野口安男委員

わかった。利用料金はどのくらいか。

●寺田福祉課長

児童福祉法、親の収入で決定。0円～4,600円が中心。その上は3万円ランクもあるがほとんどいない。

○勝川志保子委員

関連して。12施設とすごく増えている。利用者は、一つの施設だけではなく色々な所を登録していると聞く。子どもの観点からいくと、自分にとって大切な関係を持った方と持続した関係が

大切と感じる。かざぐるまは、しっかりした方針をもってやっていると思う。質の確保が心配である。ニーズはあるのか。

●寺田福祉課長

掛川支援学校が開校以来、多くの施設が増えている。全国的にも増えている。平成24年度 3,107箇所だったものが、平成27年度 6,971箇所と 2.2倍に急増している。前年度対比上限費 32.4%障がい者施設が最も多く増えている。厚労省から指針が出されている。職員の資格要件の厳格化、児童指導員、保育士、障がい福祉経験者の配置を条件として、職員の半数以上を児童指導員か保育士とする。子ども 5名に対してスタッフ 1名でよいが、そのうちの半数は、経験を持った児童指導員があたる。10名定員施設、スタッフ 2名そのうち 1名は、資格を持ったもの。平成27年度に指針が示され、来年度 4月から本格的に取り入れる。障がい者施設はすべて県の指定を受けなければならない。施設要件、スタッフ要件が揃ったうえで申請し、県の指定を受けることができるため歯止めは掛かっていると思っている。

○嶺岡慎悟委員

141ページ、3、生活保護費の医療扶助費について、入院費が増えている。256世帯とのこと。入院の割合はどのくらいか。

●戸塚社会福祉係長

入院件数、入院のカウントの仕方、色々なパターンがあるため何件という数字はでない。平成29年 4～10月の算出で、入院件数延べ 199件となっている。

○嶺岡慎悟委員

医療費の関係で。国でジェネリック使用指針を示している。掛川市の方針は。

●戸塚社会福祉係長

生活保護受給者の方へのジェネリック普及については、ケースワーカーを通じて、現在でもジェネリック使用の指導をしている。ジェネリック使用については、県調査では掛川市の使用率は高い。今後とも啓発には留意していく。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

[健康長寿課、説明 10:27～10:33]

[質疑 10:33～10:38]

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○勝川志保子委員

129ページ、介護保険特別会計操出金について、かなりの減額である。使った分が少なかったということか。

●久野健康長寿課長

おっりゃるとおり。給付費が少なかった。

○勝川志保子委員

127ページ、配食サービス事業費が減額となっているが、予定されていた配食サービスができなかったことか。

●久野健康長寿課長

当初見込んでいた数より少なかった。途中で、介護施設に入所されるとか亡くなった方がいた。途中で状態が良く配食サービスがなくなってきた方がいたため減額した。

○勝川志保子委員

民生費社会福祉に係ることだが、補正のたびに減額になるのに違和感がある。事業自体しっかり予算どおりできていないのではないか。

●久野健康長寿課長

そんなことはない。積算も細かくやっている。

○松本均委員長

予算なので、多めにとることがある。

○榛葉正樹委員

127ページ老人クラブ補助金について、100クラブを見込んでいて98クラブとのこと。今後の数をどう見込むのか。

●久野健康長寿課長

一生懸命努力して会員数を増やすことをしている。現状思うようにいかない。主な要因は、会長のなり手が無い。補助金申請がわずらわしいということ。改善してきているが、若手の方は中々入らない。65～75歳の方達の加入の工夫が必要。60代、70代、80代の世代ごとの活動をしているところがあり、そこはうまくいっている。区長会理事会に呼びかけをしている。県もシニアクラブに対して支援していただける。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

〔国保年金課 説明 10:39～10:43〕

〔質疑〕 なし

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

第4款 衛生費

〔健康づくり課 説明 10:44～10:46〕

〔質疑 10:46～10:49〕

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○榛村航一副委員長

予防接種費、インフルエンザ予防接種委託料の減額は、インフルエンザ接種する人が少なかったということか。

●今駒健康づくり課長

今年は大変流行した。国の予防接種ワクチンが不足していた。実際には、受けたくても受けられない方が多いと聞いている。当初予算は、10月～11月に次年度作成。来年のワクチンの量まで予測できない現状である。

○勝川志保子委員

関連して、肺炎球菌の予防接種委託料の減額も気になる。減額が全体に対して大きいかなぜか。

●今駒健康づくり課長

啓発している。接種を一生懸命お願いしているが、接種については本人の気持ちもある。今後さらに啓発していきたい。今年の実績は、ほぼ昨年と同様となっている。

- 松本均委員長
以上で質疑を終了する。

[地域医療推進課、説明 10:50~10:52]
[質疑] なし

- 松本均委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

- 松本均委員長
以上で質疑を終了する。

第3款 民生費
[こども政策課 説明 10:53~10:57]
[質疑 10:57~11:00]

- 松本均委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

- 榛村航一副委員長
3世代同居支援事業費の減額の原因は。

- 山崎こども政策課長
昨年は48件。今年度、6月募集時に29件の申込みがあった。その後、新たな申込みで43件となった。建設時期のタイミングもあると思う。今年は応募が少なかった。

- 榛村航一副委員長
関連して。今後、どうするのか。

- 山崎こども政策課長
平成26年度から実施している。4年間実施し一定の効果が有った。一方、元々同居の方については、事業の対象にならない。バランスを考えて今後検討したい。

- 松本均委員長
以上で質疑を終了する。

第3款 民生費
第4款 衛生費
第10款 教育費
[こども希望課 説明 11:00~11:11]
[質疑 11:11~11:21]

- 松本均委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

- 勝川志保子委員
130ページ。鷺山喜久議員も質疑していたが、西山口小学校の学童保育施設について、もう少し詳細を教えて欲しい。図工室を併用との話。どのように行うのか。西山口小学校と掛川第一小学校の定員増と施設面積の基準に適合できるものになっているのか。

●松浦こども希望課長

西山口小学校については、旧共同調理場を活用する。学校とも何度も協議をさせていただいた。西山口小学校自体の空き教室の関係もあり、単独で学童専用というのではなく、西山口小学校も特別教室として図工室の必要性が、学校全体の空き教室の関係から必要ということ。我々としても、学童保育所を新設する必要性があったので、学校側と話をし、家庭科室を併用させていただいているが、そういう形で、専用ではなく、図工室を併用しながら利用させていただく。

定員については、西山口小学校学童保育所の平成30年度の申込者数は89人。それを受け入れる定員施設については、旧調理場35人、専用施設45人、家庭科室20人、合計 100人を見込んでいる。

第一小学校学童保育所については、平成30年度申込みが 106人、定員は、専用施設A40人、もう一つの専用施設40人、4月に新設するあいりーな会議室20人。合計 100人。

ただ、専用室A Bの受け入れとしては、定員40人だが、それぞれ45人までは受け入れ可能の範囲となっている。

西山口小、第一小においては、今申込みをいただいている方については、お受けできる定員となっている。

○勝川志保子委員

45人まで受け入れるということは、クラブと調整済みか。

●松浦こども希望課長

調整している。

○勝川志保子委員

放課後児童健全育成事業費の新設予算として、西山口小学校をやっているということ。そこで、学校側の空き教室がないので、図工室を併用する仕組みになったのか。

●及川こども家庭係長

学童整備事業として整備していく。図工室としての整備については、学務課の修理費で対応していく。今回の補正では、黒板の整備をさせていただくが、これは学童でも利用させていただく。

○藤澤恭子委員

説明資料 7番、136ページ私立保育園等運営費について、説明資料を見ると、入園園児数の減等により運営にかかる給付費を減額するとあるので、まだまだ園児を受け入れできたように感じる。どういった園児の減だったのか。詳細を。

●松浦こども希望課長

当初予算を組む時に、それぞれの施設の最大定員数で予算計上をしている。定員数で全て受け入れるのではなく、保育士の数等、受け入れできる体制が予定どおりにならないこともある。

定員数で計上した最大予算に対して、各施設が保育士の数等、受け入れ可能な中で、受け入れをしていったことによって、園児数が見込みより少なかったということから、給付費も減額になった。

○勝川志保子委員

関連して。保育士の数が確保できないために、入所保育定員を下げざるを得なくて減額になっている部分はないのか。

●松浦こども希望課長

定員はあるが、保育士の数により受け入れの数が決まってくる。施設により保育士が不足しているところもある。受け入れたいが、園児の安全性確保の観点から受け入れられない現状がある。

○榛村航一副委員長

134ページ、母子家庭等支援について、実績に基づいての減額とのことだが、支援策についての周知がまだまだされていない側面があると思うが、いかがか。

●松浦こども希望課長

予定していたより見込みが少なかったことによるもの。周知については、必要な周知をしている。こどもの貧困計画の中でも、制度の周知に関しては、今後の事業展開として行っていかなくてはいけないので、今後も検討しながら、さらに周知に取り組んでいきたい。

○榛村航一副委員長

支援制度自体知らない方もいる。母子家庭だと仕事が忙しくて、そこまで気が回らないという方もいるので、ぜひ、学校との連携をしっかりとっていただきたい。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

第10款 教育費

〔学務課、説明 11:22～11:25〕

〔質疑 11:25～11:27〕

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○勝川志保子委員

更衣室がなくなっても大丈夫なのか。別に設けるのか。

●中山学務課長

第一小学校については、2階の現更衣室を特別支援学級の教室に、1階の和室を更衣室に改造していく。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

〔学校教育課、説明 11:27～11:30〕

〔質疑〕なし

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

〔社会教育課、説明 11:31～11:34〕

〔質疑〕なし

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

〔図書館 説明 11:35～11:36〕

〔質疑 11:36～11:40〕

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○野口安男委員

児童図書整備事業寄附金について、恵美奈先生からの寄附とのことだが、寄附金に対しての要望があったのか。

●奥野図書館長

具体的な要望はないが、未来を担う子どもたちに児童書を購入していただきたいということで、寄附をいただいた。

○野口安男委員

それに対して図書館では具体的な計画があるのか。

●奥野図書館長

中央図書館の児童書は、古くなったもの、あるいは需要が多いものもあるので、今度そういったものを更新あるいは新規購入していきたい。年間の図書購入費 2,300万円に対して非常に大きな金額のため、一度に購入するのではなく、計画的に大切に使いたい。今年度は、年度末ということから取りあえず 100万円補正する。今後は、毎年 200万円ずつ充実させていただく。これは非常にありがたい寄附金と考えている。

恵美奈先生からは、過去 3回にわたって既に 500万円を図書カードで寄附をいただいた。これまでも児童のためにと寄附をいただき、大変ありがたく思っている。

○野口安男委員

大東図書館と大須賀図書館にも関係するのか。

●奥野図書館長

今年度は中央図書館だが、今後は大東図書館・大須賀図書館の図書購入にも活用していきたい。

○榛村航一副委員長

関連で、恵美奈先生から沢山ご寄附をいただいているが、感謝状等を渡されているのか。やっていなければ、今度ぜひ検討していただければ。

●奥野図書館長

昨年12月にご寄附をいただいた際は、市長・教育長に会っていただき直接お礼を申し上げた。また、お礼状も差し上げている。本人の希望で、報道等へは名前を公表して欲しくないとの要望があった。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

〔討論〕

なし

〔採決〕

議案第32号 平成29年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について
賛成多数致にて原案のとおり可決

〔休憩 11:41 ～ 11:47〕

②議案第33号 平成29年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

〔国保年金課 説明 11:48～11:56〕

〔質疑〕なし

○松本均委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員長
以上で質疑を終了する。

〔討論〕
なし

〔採決〕
議案第33号 平成29年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
賛成多数にて原案のとおり可決

③議案第34号 平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について

〔国保年金課 説明 11:58 ～ 12:01〕

〔質疑〕なし

○松本均委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員長
以上で質疑を終了する。

〔討論〕
なし

〔採決〕
議案第34号 平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について
全会一致にて原案のとおり可決

④議案第35号 平成29年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

〔健康長寿課 説明 12:02 ～ 12:09〕

〔質疑 12:09 ～ 12:13〕

○松本均委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○勝川志保子委員
地域支援事業への移行が見込みより少ないことに関して、市として何が原因として捉えているのか。

●久野健康長寿課長
PRをしていたが、前半は浸透していないこともあり、移行が少なかった。後半は、ある程度移行してきたという状況であることから、前半の部分の減額をさせていただく。

○勝川志保子委員

制度が使いにくいということはないのか。

●久野健康長寿課長

そのような意見はいただいていない。移行した方からは、よかったとの言葉をいただく。現行でそのまま続けている方は、地域支援事業への移行に躊躇している方もいるといった状況である。

地域支援事業に移行するサービスは、緩和型であるので、若干安くなり個人負担が減る。移行した方は、今までの負担金より少なくなる。それで喜ぶ方もいる。

○勝川志保子委員

基金の積立額が、どんどん増額していくことに違和感がある。市として積立金が補正のたびに積み上がっていく状態は正しいと判断しているのか。

●久野健康長寿課長

基金の積立は、次の保険料に備えて行っている。今回取り崩しをすることで保険料を抑えている。5期の時は、基金がほとんどなく非常に厳しい状態であった。これについては、総額の約5%を基金に積み立てることが、健全な介護保険事業の運営になる。約4億5,000万円基金に積立があれば、安定的な保険事業ができる。

現在、見込みで約9億6,000万円のうち、約5億円の基金を取り崩し、保険料を上げないようにしていく。

○松本均委員長

以上で質疑を終了する。

〔討論〕

なし

〔採決〕

議案第35号 平成29年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について
賛成多数にて原案のとおり可決

4) その他 なし

5) 閉会 午後 0時16分